

特別プログラム

学会長講演

10月23日(水) 10:10-10:55 第1会場(三重県総合文化センター 大ホール)

変革期我が国の公衆衛生学の現状と課題-隣接諸科学との対話

座長: 武藤 孝司(獨協医科大学医学部公衆衛生学講座)

演者: 笠島 茂(三重大学大学院医学系研究科公衆衛生・産業医学分野)

基調講演

10月23日(水) 11:00-11:50 第1会場(三重県総合文化センター 大ホール)

健康の社会的決定要因: 政策への応用

座長: 笠島 茂(三重大学大学院医学系研究科公衆衛生・産業医学分野)

演者: Ichiro Kawachi (Harvard School of Public Health)

招待講演

10月24日(木) 9:00-9:50 第1会場(三重県総合文化センター 大ホール)

日本の医療と公衆衛生の役割

座長: 内田 淳正(三重大学)

演者: 坂口 力(国際医療福祉大学/元衆議院議員/初代厚生労働大臣)

特別講演 1

10月23日(水) 14:00-14:50 第2会場(三重県総合文化センター 中ホール)

多能性幹細胞・間葉系細胞技術の開発と将来-公衆衛生領域における再生医療との関わりについて考える

座長: 秋葉 澄伯(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科)

緒方 正人(三重大学大学院医学系研究科)

演者: 高橋 恒夫(京都大学再生医科学研究所幹細胞研究部門胚性幹細胞研究分野)

特別講演 2・鼎談

10月23日(水) 17:40-19:30 第1会場(三重県総合文化センター 大ホール)

行政情報のプールとデータリンケージ

座長: 實成 文彦(山陽学園大学・山陽学園短期大学)

演者: 統計の調査票情報とデータインテグレーションによる情報の拡張

森 博美(法政大学経済学部)

レコードリンケージと公衆衛生

鏡森 定信(富山県立イタイイタイ病資料館)

特別講演 3・鼎談

10月24日(木) 13:00-14:50 第1会場(三重県総合文化センター 大ホール)

長寿時代の医療と公衆衛生

座長: 田島 和雄(三重大学医学部附属病院)

演者: 長寿社会と医療

大島 伸一(独立行政法人国立長寿医療研究センター)

生存転換の示す医療・公衆衛生の未来...2×2表の呪いを超えてケアサイクルへ

長谷川敏彦(日本医科大学)

特別講演 4

10月25日(金) 9:00-9:50 第1会場(三重県総合文化センター 大ホール)

幸福のパラドックス

座長：中原 俊隆(京都大学大学院医学研究科)

演者：筒井 義郎(大阪大学大学院経済学研究科経済学専攻)

教育講演 1

10月23日(水) 14:00-14:50 第1会場(三重県総合文化センター 大ホール)

医療ビッグデータ時代のプライバシー・個人情報保護法制のあり方

座長：浜島 信之(名古屋大学大学院医学系研究科医療行政学)

演者：鈴木 正朝(新潟大学法学部)

教育講演 2

10月23日(水) 14:00-14:50 第3会場(三重県総合文化センター レセプションルーム)

よりそいホットラインに寄せられた声が訴えるもの-24年度1千万件のアクセスの分析から-

座長：本橋 豊(秋田大学)

演者：熊坂 義裕(盛岡大学/社)社会的包摂サポートセンター)

教育講演 3

10月23日(水) 14:00-14:50 第4会場(三重県総合文化センター 多目的ホール)

幼児期運動指針と幼児の運動発達

座長：下光 輝一(公益財団法人健康・体力づくり事業団)

演者：小林 寛道(東京大学)

教育講演 4

10月23日(水) 14:00-14:50 第5会場(三重県総合文化センター 大研修室)

結核対策の将来展望

座長：小澤 邦壽(群馬県衛生環境研究所)

演者：森 亨(公益財団法人結核予防会結核研究所)

教育講演 5・鼎談

10月24日(木) 13:00-14:50 第2会場(三重県総合文化センター 中ホール)

介護医療と公衆衛生

座長：近藤 克則(日本福祉大学社会福祉学部)

演者：「地域社会の変容と普遍性」～超高齢化社会を支える仕組みとその手法～

東 憲太郎(介護老人保健施設いこいの森)

脳卒中、認知症の介護・医療と公衆衛生

富本 秀和(三重大学大学院神経病態内科学・認知症医療学)

教育講演 6

10月24日(木) 14:30-15:20 第3会場(三重県総合文化センター レセプションルーム)

第二期の特定健診・特定保健指導の効果的な進め方

座長：岡山 明(公益財団法人結核予防会第一健康相談所総合健診センター)

演者：今井 博久(国立保健医療科学院)

教育講演 7

10月25日(金) 9:00-9:50 第3会場(三重県総合文化センター レセプションルーム)

病院を中心とする街づくりとソーシャルキャピタル

座長：川上 憲人(東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻精神保健学分野)

演者：伊藤由希子(東京学芸大学人文社会科学系社会科学講座経済学分野)

教育講演 8

10月25日(金) 9:00-9:50 第4会場(三重県総合文化センター 多目的ホール)

PM2.5による大気汚染の現状と健康影響

座長：山口 直人(東京女子医科大学医学部)

演者：新田 裕史(国立環境研究所環境健康研究センター)

メインシンポジウム 1

10月23日(水) 15:00-17:30 第1会場(三重県総合文化センター 大ホール)

災害時や危機管理におけるビッグデータの形成とその利活用

座長：佐藤 俊哉(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療統計学)

今井 寛(三重大学医学部附属病院(救命救急センター))

演者：不確実な情報下における予測戦略

樋口 知之(情報・システム研究機構/統計数理研究所)

データの有効な視覚化と統計解析

高橋 邦彦(名古屋大学大学院医学系研究科臨床医薬学講座生物統計学分野)

東日本大震災における流れの記録—その時人はどう動き、ものはどう運ばれたか—

桑原 雅夫(東北大学大学院情報科学研究科人間社会情報科学専攻空間計画科学分野)

継続的な情報発信の重要性 浜通り・相双地区での内部被ばく検査の現状から

坪倉 正治(東京大学医科学研究所先端医療社会コミュニケーションシステム社会連携研究部門)

メインシンポジウム 2

10月24日(木) 10:00-11:50 第1会場(三重県総合文化センター 大ホール)

医師の臨床研修制度

座長：篠崎 英夫(日本公衆衛生協会)

演者：もう一度研修制度を見直そう。

坂口 力(国際医療福祉大学/元衆議院議員/初代厚生労働大臣)

保健所医師の確保と育成の立場から

宇田 英典(鹿児島地域振興局保健福祉環境部伊集院保健所)

衛生学公衆衛生学教育と医師の臨床研修

本橋 豊(秋田大学)

国立保健医療科学院における地域保健研修

松谷有希雄(国立保健医療科学院)

メインシンポジウム3 (市民公開)

10月25日(金) 15:30-17:50 第1会場(三重県総合文化センター 大ホール)

変革期の公衆衛生学とヘルスコミュニケーション

座長：杉森 裕樹 (大東文化大学大学院)

中山 健夫 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野)

演者：認知症の人とのコミュニケーション

長谷川和夫 (社会福祉法人浴風会認知症介護研究・研修東京センター／聖マリアンナ医科大学)

妊孕性リテラシースケール (Cardiff Fertility Knowledge Scale)

杉森 裕樹 (大東文化大学大学院)

日本社会における妊孕能の認識と今後の課題

鴨下 桂子 (東京慈恵会医科大学病院産婦人科)

一般市民のヘルスリテラシーと公衆衛生学的課題

須賀 万智 (東京慈恵会医科大学医学部環境保健医学講座)

ヘルスコミュニケーション：国内外の動向

中山 健夫 (京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報学分野)

放射線に関するヘルスコミュニケーション

小橋 元 (放射線医学総合研究所)

シンポジウム1

10月23日(水) 15:00-16:50 第2会場(三重県総合文化センター 中ホール)

保健所の過去・現在・未来

座長：篠崎 英夫 (日本公衆衛生協会)

演者：保健所一過去・現在・未来(過去編) 敗戦後の混乱からの再生

北川 定謙 (日本公衆衛生協会)

保健所の現状 - 多様な保健所と連携による機能的標準化を目指して -

佐々木隆一郎 (長野県飯田保健所)

保健所の将来 - 智と経験は未来を拓く -

渡邊 能行 (京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療疫学)

韓国の保健所の過去・現在・未来

裊 祥秀 (ペ・サンス) (韓林大学校)

シンポジウム2

10月23日(水) 15:00-17:30 第3会場(三重県総合文化センター レセプションルーム)

社会的困窮者への公衆衛生からのアプローチ - 現状と課題 -

座長：小林 章雄 (愛知医科大学医学部衛生学講座)

八谷 寛 (藤田保健衛生大学医学部公衆衛生学教室)

演者：ホームレス経験者が抱える社会的困難

山田壮志郎 (日本福祉大学社会福祉学部)

『生活困窮者』の支援から公衆衛生看護として『社会的困窮者』の支援へ…

水谷 聖子 (愛知医科大学看護学部)

口腔から見た社会的困窮者の生活

水谷 雄樹 (NPO 法人ささしまサポートセンター (笹島診療所) / 水谷歯科医院)

児童虐待防止に向けた取り組み—育児支援につなげたいハイリスク要因について—

明石 都美 (名古屋市中保健所)

基礎的自治体からみた子どもの貧困・社会排除問題

二神 恭一 (公益財団法人荒川区自治総合研究所 (RILAC))

地域で当事者と育ちあう～「自立支援」から「生活機会の保障」への転換

日置 真世 (NPO 法人地域生活支援ネットワークサロン)

シンポジウム 3

10月23日(水) 15:00-17:30 第4会場(三重県総合文化センター 多目的ホール)

子どもの運動発達と親子支援

座長：小島 光洋（一般財団法人宮城県成人病予防協会）

増田 和茂（公益財団法人健康・体力づくり事業財団）

演者：子どもの運動発達と親子支援、健康スポーツ医、学校医として

香月きょう子（池田医院）

最近のこどもたちの身体活動量、その特徴

木村みさか（京都学園大学バイオ環境学部）

運動遊びの教室に親子遊びを取り込む効果

小関 潤子（NPO 法人ひろさきレクリエーション協会）

行政の強みを活かした子どもの運動発達支援

樋口 和子（糸魚川市市民部健康増進課）

幼児期における親子での運動遊びの取り組みについて 発育発達と子育て支援の視点から

村田トオル（奈良佐保短期大学地域こども学科）

指定発言：小林 寛道（東京大学）

シンポジウム 4

10月23日(水) 17:40-20:10 第3会場(三重県総合文化センター レセプションルーム)

放射線と健康教育・地域づくり ～今あらためて見直される公衆衛生の課題～

座長：小橋 元（放射線医学総合研究所）

演者：いわゆる低線量被ばく地域における放射線対策

阿部 孝一（郡山市保健所）

放射線被曝への対応 - 遺伝カウンセリングの立場から

千代 豪昭（もと南相馬市立総合病院放射線健康カウンセリング外来室長／兵庫医科大学遺伝子学講座）

福島第一原発事故後の千葉県柏市における対策

染谷 誠一（千葉県柏市役所放射線対策室）

原子力災害下における福島県民の予防行動と県外避難の現状

神田 秀幸（横浜市立大学医学部社会予防医学教室）

放射線の健康リスクと今私達に出来ること

小橋 元（放射線医学総合研究所）

シンポジウム 5

10月24日(木) 10:00-11:30 第2会場(三重県総合文化センター 中ホール)

「みえライフイノベーション総合特区」による公衆衛生への貢献と医療・健康・福祉産業の振興 ～統合型医療情報データベース活用の展望～

座長：西村 訓弘（三重大学大学院医学系研究科）

演者：みえライフイノベーション総合特区の概要

増田 直樹（三重県健康福祉部ライフイノベーション課）

統合型医療情報データベースは地域医療にどう貢献するか

竹田 寛（三重大学医学部附属病院）

統合型医療情報データベースは臨床研究にイノベーションを起こす？

西川 政勝（三重大学大学院医学系研究科臨床創薬研究学）

県民参加型の総合特区による疫学予防・公衆衛生への貢献

田島 和雄（三重大学医学部附属病院疫学センター）

シンポジウム 6

10月24日(木) 10:00-11:50 第3会場(三重県総合文化センター レセプションルーム)

変革期における公衆衛生としての地域づくり：ソーシャルキャピタルと保健師活動

座長：村嶋 幸代（大分県立看護科学大学）
村中 峯子（公益社団法人日本看護協会）

演者：ソーシャル・キャピタルの流れと地域づくり
山縣然太郎（山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座）

保健師の地区活動とソーシャルキャピタルの醸成
平野かよ子（東北大学大学院宮城地域医療支援寄付講座）

地域づくり組織と進める地域保健活動
北森 祥子（三重県名張市子ども部 兼 健康福祉部）

藤枝市における保健活動の取り組み～健康・予防日本一をめざして～
松野 京子（静岡県藤枝市健康福祉部健康推進課）

シンポジウム 7

10月24日(木) 10:00-11:50 第4会場(三重県総合文化センター 多目的ホール)

睡眠公衆衛生の実践 ～睡眠保健活動に向けて～

座長：大井田 隆（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）
兼板 佳孝（大分大学医学部公衆衛生・疫学講座）

演者：睡眠と喫煙
尾崎 米厚（鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野）

運動と睡眠
北畠 義典（埼玉県立大学保健医療福祉学部）

労働/休養と睡眠
井谷 修（日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野）

飲酒と睡眠
兼板 佳孝（大分大学医学部公衆衛生・疫学講座）

シンポジウム 8

10月24日(木) 13:00-15:30 第4会場(三重県総合文化センター 多目的ホール)

「健やか親子 21」の最終評価と次期「健やか親子 21」の策定

座長：山縣然太郎（山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座）
桑島 昭文（厚生労働省雇用均等児童家庭局母子保健課）

演者：健やか親子 21 の経緯
山縣然太郎（山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学講座）

課題 1 思春期の課題の最終評価
松浦 賢長（福岡県立大学看護学部学校保健領域）

課題 2 妊娠出産期の課題の最終評価
玉腰 浩司（名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻）

課題 3 小児保健医療の課題の最終評価
尾島 俊之（浜松医科大学健康社会医学講座）

課題 4 子どもの心の発達と育児不安の課題の最終評価
山崎 嘉久（あいち小児保健医療総合センター）

健やか親子 21 の最終評価及び次期プランについて
桑島 昭文（厚生労働省雇用均等児童家庭局母子保健課）

シンポジウム 9

10月24日(木) 13:00-14:50 第5会場(三重県総合文化センター 大研修室)

多様な社会の健康をまもる-外国人との共生を支えるために、公衆衛生にできること-

座長：毛利 一平(三重大学大学院医学系研究科公衆衛生・産業医学分野)
畑下 博世(三重大学医学部看護学科地域・老年看護学)

演者：地域人材としてともに暮らし働くための社会基盤づくり
-群馬大学・群馬県「多文化共生推進市」養成ユニットの試み-
結城 恵(群馬大学大学教育・学生支援機構教育基盤センター)

外国人労働者を取り巻く社会的問題に関する考察

児玉 克哉(三重大学人文学部)

外国人の健康は誰が守る？新しいコミュニティが育つとき

沢田 貴志(神奈川県勤労者医療生活協同組合港町診療所)

シンポジウム 10

10月24日(木) 15:00-17:30 第1会場(三重県総合文化センター 大ホール)

原子力災害における公衆衛生の取り組み

座長：安村 誠司(福島県立医科大学医学部公衆衛生学)
高鳥毛敏雄(関西大学社会安全学部)

演者：原発事故による川内村の対応「避難・帰村・復興への足がかり」
遠藤 雄幸(福島県川内村長)

原子力災害における保健所の取り組み

笹原 賢司(福島県衛生研究所)

避難区域以外の自治体の取組み

阿部 洋子(福島県二本松市健康増進課)

放射線による健康影響の評価と対策

小笹晃太郎(放射線影響研究所・疫学部)

原子力災害後のメンタルヘルス

鈴木友理子((独)国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所成人精神保健研究部)

シンポジウム 11

10月24日(木) 15:00-17:30 第2会場(三重県総合文化センター 中ホール)

難病対策の転換期における基盤整備の取り組み

～三重大学・国立保健医療科学院共同企画シンポジウム～

座長：金谷 泰宏(国立保健医療科学院健康危機管理研究部)
成田 有吾(三重大学医学部看護学科)

演者：我が国の難病対策の方向性
西嶋 康浩(厚生労働省健康局疾病対策課)

難病研究の推進体制の整備

武村 真治(国立保健医療科学院健康危機管理研究部)

特定疾患医療従事者研修が目指す人材育成の方向性

奥田 博子(国立保健医療科学院生涯健康研究部)

難病登録の課題と国際的な動向

水島 洋(国立保健医療科学院)

難病研究における臨床調査と疫学の重要性

葛原 茂樹(鈴鹿医療科学大学保健衛生学部医療福祉学科)

シンポジウム 12

10月24日(木) 15:30-18:00 第3会場(三重県総合文化センター レセプションルーム)

地域で口腔保健活動をどのように進めるかー歯科口腔保健法に基づくアプローチ

座長：尾崎 哲則（日本大学歯学部医療人間科学分野）

演者：**高齢期の地域住民の口腔機能の現状と今後の課題**

三浦 宏子（国立保健医療科学院地域医療システム研究分野）

久山町コホート研究における口腔と全身の健康の関連性解明へのアプローチ

山下 喜久（九州大学大学院歯学研究院口腔保健推進学講座口腔予防医学分野）

健康格差解消に向けた地域歯科保健の取組～行政の立場から～

秋野 憲一（北海道空知総合振興局保健環境部保健行政室（北海道岩見沢保健所））

地域で口腔保健活動をどのように進めるか

小椋 正之（厚生労働省医政局歯科保健課・歯科口腔保健推進室）

シンポジウム 13

10月24日(木) 15:30-18:00 第4会場(三重県総合文化センター 多目的ホール)

“日本の将来を託す子どもの発達保障と社会環境整備”

～発達環境の質的確保と子育て支援の実効策担保～

座長：鳥帽子田彰（広島大学大学院医歯薬・保健学研究院公衆衛生学講座）

演者：**子どもの発達保障と社会保障整備の実効策担保**

鳥帽子田彰（広島大学大学院医歯薬・保健学研究院公衆衛生学講座）

社会環境とこどもの健康：媒介要因は何か？

藤原 武男（国立成育医療研究センター研究所成育社会医学研究部／
三重大学大学院医学系研究科成育社会医学分野）

バースコホートデータ等を背景とした我が国の生育環境の課題

加藤 承彦（広島大学大学院医歯薬・保健学研究院公衆衛生学講座）

子どもの貧困：政策の選択肢

阿部 彩（国立社会保障・人口問題研究所社会保障応用分析研究部）

社会生活環境要因と子どもの健康・成長；出生コホート（北海道スタディ）の成果と提言

岸 玲子（北海道大学・環境健康科学研究教育センター）

指定発言：**保健事業からみえてくる親子の姿**

藤井久美子（三重県津市健康福祉部健康づくり課）

健やか親子21の最終評価及び次期プランについて

桑島 昭文（厚生労働省雇用均等児童家庭局母子保健課）

シンポジウム 14

10月24日(木) 15:00-17:30 第5会場(三重県総合文化センター 大研修室)

科学的根拠に基づいた公衆衛生政策の推進 - 精神保健版 -

座長：藤田 享宣（日本電気株式会社健康管理センター）

櫻澤 博文（さくらざわ労働衛生コンサルタント）

演者：**精神医療の暴走 10年史を振り返る**

佐藤 光展（読売新聞東京本社医療部）

エビデンスなき里のコウモリ：精神保健福祉政策の有効性を問う

齊尾 武郎（フジ虎ノ門健康増進センター／K&S 産業精神保健コンサルティング）

長時間労働とうつ状態の関係

天笠 崇（代々木病院精神科）

勤労者におけるストレスと生活習慣の関係

赤松 利恵（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科）

脳科学によるうつ病診断の試み

岡田 剛（広島大学大学院精神神経医科学）

大学病院における「疫学センター」の役割と地域連携

神田 浩路（三重大学医学部附属病院疫学センター）

シンポジウム 15 (モニタリング・レポート委員会企画)

10月25日(金) 10:00-11:50 第1会場(三重県総合文化センター 大ホール)

本学会における健康リスク情報の共有化を目指して

座長：青柳 潔 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野)
佐藤 眞一 (千葉県衛生研究所)

演者：第2期MR委員会としての検討の方向性

橋本 英樹 (東京大学大学院公共健康医学専攻)

タバコの健康影響－我々はどう取り組むか

矢野 栄二 (帝京大学大学院公衆衛生学研究科)

非正規雇用と健康のモニタリング・レポート体制の確立

川上 憲人 (東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻精神保健学分野)

米国疾病予防管理センター (US-CDC) の健康危機管理活動

佐甲 隆 (桜木記念病院)

健康危機管理モニタリング・レポートシステム構築の理念と進捗状況報告

遠藤 弘良 (東京女子医科大学国際環境・熱帯医学講座)

シンポジウム 16

10月25日(金) 10:00-11:30 第3会場(三重県総合文化センター レセプションルーム)

日本の建築衛生

座長：多田羅浩三 (日本公衆衛生協会)

演者：建築衛生の潮流

篠崎 英夫 (日本建築衛生管理教育センター)

建築物衛生行政をめぐる動向と制度に関する基本的視座

依田 泰 (厚生労働省健康局生活衛生課)

公衆衛生思想と建築物衛生法

大井田 隆 (日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)

環境・技術の動向と建築衛生

大澤 元毅 (国立保健医療科学院)

シンポジウム 17

10月25日(金) 10:00-11:50 第4会場(三重県総合文化センター 多目的ホール)

地域職域連携は中小企業で働く人々の健康を守れたのか

座長：柴田 英治 (愛知医科大学医学部衛生学講座)

圓藤 吟史 (大阪市立大学大学院医学研究科)

演者：中小企業における職場の健康リスクを意識した保健師活動

青山 京子 (青山労働衛生コンサルタント事務所)

紀南地域における地域産業保健協議会の設置経験と展望

二村 昭 (一般社団法人紀南医師会)

福岡県地域産業保健センター活動の現状と今後の展望～地域職域連携の必要性を考える～

柿森 里美 (福岡県地域産業保健センター)

働く人々の健康を守るために地域保健と職域～産業保健が連携できる実務について

松田 元 (まつだクリニック)

シンポジウム 18

10月25日(金) 10:00-11:50 第5会場(三重県総合文化センター 大研修室)

イノベーション・オブ・パブリックヘルス～経営学からのアプローチ～

座長：北川信一郎(京都市上京保健センター)

演者：環境経営の3つの要素

國部 克彦(神戸大学大学院経営学研究科)

保健師の経験学習プロセス

松尾 睦(北海道大学大学院経済学研究科)

働きやすい病院は経営サステイナブルか

瀧野 敏子(特定非営利活動法人イージェイネット/医療法人社団ラ・クォール会)

市民の信頼回復から始まった公立病院イノベーション

山中 光茂(松阪市長)

シンポジウム 19

10月25日(金) 13:00-15:30 第1会場(三重県総合文化センター 大ホール)

健康日本21(第2次)の新たな課題 ～健康格差の縮小を目指して～

座長：横山 徹爾(国立保健医療科学院生涯健康研究部)

辻 一郎(東北大学大学院医学系研究科社会医学講座公衆衛生学分野)

演者：健康日本21(第2次)と健康格差の縮小

河野 美穂(厚生労働省健康局がん対策・健康増進課)

健康寿命と健康格差

橋本 修二(藤田保健衛生大学医学部衛生学講座)

近隣諸科学との協働による栄養・食生活分野の格差の実態把握と対策に向けて

村山 伸子(新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科)

循環器疾患分野の目標設定における三層構造の考え方

岡村 智教(慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学)

歯・口腔の健康における格差の現状と縮小に向けたアプローチ

三浦 宏子(国立保健医療科学院地域医療システム研究分野)

シンポジウム 20

10月25日(金) 13:00-15:30 第3会場(三重県総合文化センター レセプションルーム)

地域から世界へ、世界から地域へ！ -地域医療と国際保健の協働-

座長：足立 基(三重県立総合医療センター)

駒田 美弘(三重大学大学院医学系研究科臨床医学系講座小児科学分野)

演者：世界に広がり、世界から学ぶ、母子手帳

中村 安秀(大阪大学大学院人間科学研究科国際協力学)

三重県下全市町で展開する地域基盤型保健医療教育

堀 浩樹(三重大学大学院医学系研究科医学医療教育学分野)

保健分野での住民参加：アフリカでの経験からインセンティブを考える

松林 信幸(三重県立志摩病院小児科)

医療資源の乏しい中での保健師の役割

鳥居久美子(三重県南牟婁郡紀宝町役場健康づくり推進課)

地域での保健行政～アフリカと日本で公衆衛生が果たす役割

松井 三明(独立行政法人国立国際医療研究センター国際医療協力局)

シンポジウム 21

10月25日(金) 13:00-15:30 第4会場(三重県総合文化センター 多目的ホール)

法医学と公衆衛生の接点

座長：那谷 雅之(三重大学大学院医学系研究科法医学科学分野)

演者：日本の死因究明制度～現状と将来展望～

福永 龍繁(東京都監察医務院)

東京都区部の孤独死統計調査：監察医による死因統計の方法と意義

金涌 佳雅(防衛医科大学校法医学講座)

有効な自殺対策にむけて - 法医学、公衆衛生学、精神医学等の連携 -

井上 顕(島根大学医学部公衆衛生学)

シンポジウム 22

10月25日(金) 13:00-15:30 第5会場(三重県総合文化センター 大研修室)

わが国の脳性麻痺に関する疫学的検討

座長：小林 廉毅(東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野)

池田 智明(三重大学大学院医学系研究科産科婦人科学分野)

演者：沖縄県における脳性麻痺児の疫学的調査

當山 潤(沖縄小児発達センター小児神経科)

脳性麻痺における双胎出生

二井 英二(三重県草の実リハビリテーションセンター整形外科)

三重県における脳性麻痺児に関する検討 - 産科の立場から -

神元 有紀(三重大学医学部産婦人科)

三重県における脳性麻痺：NICUの視点から

盆野 元紀(国立病院機構三重中央医療センター臨床研究部/総合周産期母子医療センター新生児科)

わが国の脳性麻痺児の現況と課題

岡 明(東京大学医学部附属病院小児科)

日本学術会議パブリックヘルス分科会・生活習慣病対策分科会・健康・スポーツ科学分科会・日本公衆衛生学会合同シンポジウム

10月23日(水) 17:40-20:00 第2会場(三重県総合文化センター 中ホール)

特定健診・特定保健指導の新たな局面とその推進

座長：磯 博康(大阪大学大学院医学系研究科社会環境医学講座公衆衛生学)

武藤 孝司(獨協医科大学医学部公衆衛生学講座)

演者：高血圧は高コレステロール食による非アルコール性脂肪性肝炎進展のリスクとなるか

那須 民江(中部大学生命健康科学部)

標準的な健診・保健指導プログラムの改訂について

野田 博之(厚生労働省健康局がん対策・健康増進課)

特定健診・保健指導～第1期実施計画の評価と今後の課題

野口 緑(尼崎市市民協働局ヘルスアップ戦略担当)

特定健診・特定保健指導の効果と行動変容を促す支援

奥山 恵(東松山医師会病院健診センター)

大阪がん循環器病予防センターによる市町村支援の取り組み

北村 明彦(大阪がん循環器病予防センター循環器病予防部門)

超高齢社会における運動器の重要性

座長：鈴木 隆雄(国立長寿医療研究センター研究所)
西脇 祐司(東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野)

演者：超高齢社会における変形性膝関節症予防の重要性：大規模住民コホート ROAD Study より
吉村 典子(東京大学医学部 22世紀医療センター関節疾患総合研究講座)

骨粗鬆症の疫学

藤原佐枝子(広島原爆障害対策協議会健康管理・増進センター)

運動器と健康づくりのための身体活動基準 2013・アクティブガイド

宮地 元彦(独立行政法人国立健康・栄養研究所)

体組成及び膝伸展筋力の加齢変化と変形性膝関節症との関連

渡辺 博史(JA 新潟厚生連新潟医療センターリハビリテーション科)

地方衛生研究所研修フォーラム

10月23日(水) 15:00-17:30 第5会場(三重県総合文化センター 大研修室)

結核菌分子疫学の推進と結核対策への活用

座長：長谷 篤(大阪市立環境科学研究所)
調 恒明(山口県立環境保健センター)

演者：反復配列多型(VNTR)分析法による結核菌型別—精度管理と考え方、使い方—
和田 崇之(長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野)

高まん延地域の結核対策における分子疫学的解析

田丸 亜貴(大阪府立公衆衛生研究所感染症部細菌課)

低まん延地域の結核対策における分子疫学的解析

阿彦 忠之(山形県衛生研究所)

結核対策における結核菌分子疫学の活用

藤山 理世(神戸市中央区保健福祉部/神戸市保健所)

結核菌分子疫学の将来展望—サーベイランスシステムの構築に向けて—

御手洗 聡(公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部)

指定発言：野阪 哲哉(三重大学大学院医学系研究科感染症制御医学・分子遺伝学)

奨励賞受賞講演

10月24日(木) 13:00-14:20 第3会場(三重県総合文化センター レセプションルーム)

社会における健康リスクと関連要因に関する研究

座長：磯 博康(大阪大学大学院医学系研究科社会環境医学講座公衆衛生学)
演者：神田 秀幸(横浜市立大学医学部社会予防医学教室)

地域住民に対する生活習慣介入プログラムによる循環器疾患リスクの改善効果

座長：武見ゆかり(女子栄養大学栄養学部)
演者：春山 康夫(獨協医科大学医学部公衆衛生学講座)

新型インフルエンザ等に対する公衆衛生対策

座長：堤 明純(北里大学医学部公衆衛生学単位)
演者：和田 耕治(独立行政法人国立国際医療研究センター国際医療協力局)

ランチョンセミナー 1

10月23日(水) 12:00-12:50 第3会場(三重県総合文化センター レセプションルーム)

日本におけるワクチン、これからの課題～ロタウイルスとB型肝炎を中心に～

座長：尾崎 隆男(江南厚生病院こども医療センター)

演者：黒木 春郎(医療法人嗣業の会外房こどもクリニック/千葉大学医学部)

共催：MSD株式会社

ランチョンセミナー 2

10月23日(水) 12:00-12:50 第4会場(三重県総合文化センター 多目的ホール)

厚労省「健康づくりのための睡眠指針」を振り返る

座長：大井田 隆(日本公衆衛生学会/日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)

演者：高橋 清久(財団法人精神・神経科学振興財団)

共催：一般社団法人日本睡眠総合検診協会/パシフィックメディコ株式会社

ランチョンセミナー 3

10月23日(水) 12:00-12:50 第5会場(三重県総合文化センター 大研修室)

低蔓延化にむけた結核対策：接触者対応を中心に

座長：長坂 裕二(三重県桑名保健所)

演者：森 亨(公益財団法人結核予防会結核研究所)

共催：日本ビーシージー製造株式会社

ランチョンセミナー 4

10月24日(木) 12:00-12:50 第3会場(三重県総合文化センター レセプションルーム)

健診・保健指導における禁煙勧奨の意義

座長：大井田 隆(日本大学医学部社会医学系公衆衛生学分野)

演者：健診等の保健事業の場を活用した禁煙支援の推進を目指して

増居志津子(大阪がん循環器病予防センター 予防推進部)

健診機関における禁煙支援の実際

清水 隆裕(社会医療法人敬愛会 ちばなクリニック 健康管理センター)

共催：ノバルティスファーマ株式会社/ファイザー株式会社

ランチョンセミナー 5

10月24日(木) 12:00-12:50 第4会場(三重県総合文化センター 多目的ホール)

7価肺炎球菌結合型ワクチン導入の効果と残された課題、そして13価への期待

座長：押谷 仁(東北大学大学院医学系研究科微生物学分野)

演者：森 雅亮(横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター)

共催：ファイザー株式会社

ランチョンセミナー 6

10月24日(木) 12:00-12:50 第5会場(三重県総合文化センター 大研修室)

不眠症の話

座長：兼板 佳孝(大分大学医学部公衆衛生・疫学講座)

演者：内山 真(日本大学医学部精神医学系)

共催：エーザイ株式会社

ランチョンセミナー 7

10月25日(金) 12:00-12:50 第3会場(三重県総合文化センター レセプションルーム)

低周波電磁界の健康リスク評価—WHOの国際電磁界プロジェクトを中心にして—

座長：伊藤 勇 (一般財団法人電気安全環境研究所電磁界情報センター)

演者：大久保千代次 (一般財団法人電気安全環境研究所電磁界情報センター)

共催：一般財団法人 電気安全環境研究所

ランチョンセミナー 8

10月25日(金) 12:00-12:50 第4会場(三重県総合文化センター 多目的ホール)

高齢者に対する肺炎予防～地域における23価肺炎球菌ワクチンの有効性について～

座長：渡辺 彰 (東北大学加齢医学研究所抗感染症薬開発研究部門)

演者：今立 俊輔 (国立病院機構長崎医療センター総合診療科)

共催：MSD株式会社

無煙タバコに対する学術会議提言を受けてのたばこ対策専門委員会主催緊急シンポジウム

10月25日(金) 9:00-9:50 第5会場(三重県総合文化センター 大研修室)

座長：尾崎 哲則 (日本大学歯学部医療人間科学分野、日本公衆衛生学会たばこ対策専門委員会委員長)

演者：子どもの受動喫煙

加治 正行 (静岡市保健所)

口から見えるタバコ問題

尾崎 哲則 (日本大学歯学部医療人間科学分野)

タバコ対策の転換：個人の生活習慣改善から公衆衛生活動へ

矢野 栄二 (帝京大学大学院公衆衛生学研究科)

指定発言：埴岡 隆 (福岡歯科大学口腔保健学講座)